

# 県民だより

第36号

●1990年7月19日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市埴田1丁目1番20号 ☎0286-23-2158 ●県人口/1,928,827人/男957,499人/女971,328人 ●世帯数566,873世帯(1990年6月1日現在)

## とちぎの首都圏農業

ただいま躍進中!



選別出荷される栃木のトマト

# はおいしくくて新鮮!

生産者をはじめ関係機関・団体と一体となりました。  
農産物”が供給できるよう新しい作物を導いています。また、流通の方法においても

首都圏農業最前線をご紹介します。



## ものを食卓に



栃木県知事  
渡辺 文雄

栃木県は、首都圏に位置するという有利な地理的条件や豊かな自然条件を十分生かし、園芸作物、米麦、畜産、のバランスのとれた「首都圏農業」の確立に向けて、農家のみならずの意欲的な取り組みに支えられ、着実にその道を歩み始めました。

21世紀における輝かしい栃木県農業の飛躍のためには、多様化する消費者の需要を的確にとらえ、地域の特性を生かしながら、園芸作物の産地拡大や土地利用型農業の生産性の向上を図っていくことが重要となっています。

そこで、広い農地と高い技術を生かして、限りない可能性をもつ本県の農業をさらに発展させるため、現在、県では各種の施策を展開していますが、県民のみならずにも、今後より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 消費者の需要に応じて



【新鮮なまま出荷されるほうれんそう】

### ●産地の特性を生かして

本県は、県南の平地から県北の高冷地まで、いろいろな環境の産地があります。恵まれた日照時間とハウスを利用して早く収穫・出荷するものや、高冷地の夏の冷涼な気象条件を生かして、平地の収穫が終わった時期に出荷するなど、産地の特性を生かした生産・出荷をしています。  
また、出荷するときに、発泡スチロールのケースに入れたり、特別なフィルムを使うなど鮮度を保つ工夫もしています。

### ●生活にうるおいを



【盛んな花の栽培】

●多様な需要に応える産地づくり  
市場では、消費者の多種多様な需要に応えるため、全国からいろいろな農産物を集めています。  
そこで産地では、市場の必要としているレタス・トマト・たまねぎ等様々なとちぎの野菜を安定して継続的に供給し、生産者と消費者の結びつきを強めています。  
また、生産者の組織づくりや野菜育苗センター・野菜一元集荷所などの整備を進めたり、鮮度を保持するために真空予冷施設を利用して、市場・消費者に新鮮でおいしいものを届けています。

●おいしい栃木米  
消費者の望む「おいしくて新鮮で、しかも安全な高品質品」が、各地で作られています。  
栽培方法を工夫して作る完熟トマトは、フルーツ並みの味がします。  
また、冬から春にかけて、温泉熱を利用して作るなすは、色つやもよくやわらかいため、高品質品として市場や消費者の好評を得ています。



【完熟トマト】



### ●とちぎ和牛はブランド品

●とちぎ和牛はブランド品  
本県は、肉用牛の生産では全国第七位です。また、県産牛の最高級品を「とちぎ和牛」としてブランド化を進めています。  
現在三三七戸の指定生産者によって丹精込めて育てられた黒毛の和牛を、県内外七〇の指定店を通じて消費者に届けています。さらに、牛肉の「味」を知ってもらうためにビーフピアを開催するなど、消費者との交流を通じて本県の牛肉消費の拡大に努めています。



【とちぎ和牛】



【出荷されるいろいろな野菜】

## とちぎ再発見

〈日本一シリーズ〉

### ■山あげ祭 (烏山町)

山あげ祭は烏山町八雲神社例大祭の奉納行事です。毎年7月25～27日の夏の強い日差しのもと、6町内が持ち回りで当番町となって行われます。

この祭りは今から400年以上も前、烏山城主の那須資胤が領内に流行した疾病退散を祈願し、八雲神社の祭神である牛頭天王に余興を奉納したのがそのはじまりであるといわれています。現在、烏山城は苔むす石垣だけとなったものの、この祭りは、烏山町民の熱意でいよいよ盛大となって受け継がれています。

「山あげ」とは、余興の踊り舞台の背景となる山を仕組み舞台づくりをすることをいい、山は大山・中山・前山の3つからなります。山は、竹を割って網代に編み、それに烏山特産の手すき和紙を何枚も張りあわせ、その上に樹木や岩などを描きこんで山の風景をあらわします。大山は高さ約10m、幅約8mもあり、舞台から100mも先に置かれることとなります。演技の進行に伴い、場面ごとに山や舞台が千変万化する仕掛けで、その彩色・動き・からくりは大変見事です。舞台では「将門」などの常磐津所作狂言が演じられます。

踊りが終わると舞台や山はとりこわされ、場所をかえてまた組み立てられます。その作業は町の若衆の役目です。約150人程を要しますが、その作業のすばやさに野州男児の心意気を見ることができます。



本県の誇る実にダイナミックなこの付け祭り、昭和54年に国の重要無形民俗文化財に指定され、日本一の豪壮な野外劇と称されています。

栃木県教育委員会文化課  
☎0286-23-3424

## 伝えたいふるさとの味

本県の特産物である「かんぴょう」は、7月中旬から8月にかけて、県央から県南地帯の農家の庭先に、白いすだれのように干されています。

かんぴょう料理も、昔から伝わるものや新しい料理などたくさんありますが、その中から「かんぴょうのごま酢あえ」と「かんぴょうの八幡巻」をご紹介します。

### ■かんぴょうのごま酢あえ (石橋町)

#### ★材料 (5人分)

かんぴょう	20g	【調味料】	
油あげ	2枚	すりごま	大さじ2
にんじん	20g	酢	大さじ2½
きゅうり	1本	さとう	大さじ2½
塩	小さじ1	ごま油	小さじ2
		しょうゆ	小さじ2



かんぴょうのごま酢あえ

#### ★作り方

- (1) かんぴょうは塩もみしてからよく水洗いし、熱湯に20分つけ水気をしぼり、3～4cmに切る。
- (2) 油あげは湯抜きをしてから5mm幅位の短冊に切る。
- (3) にんじん、きゅうりも3～4cmの長さの千切りにする。これに塩少量をふり軽くもむ。
- (4) 調味料全部をよくまぜあわせ、(1)～(3)の材料を食べる直前にあえる。

### ■かんぴょうの八幡巻 (壬生町)



かんぴょうの八幡巻

#### ★材料 (5人分)

かんぴょう	40g	【調味料】	
にんじん	100g	さとう	大さじ2
細いごぼう	400g	みりん	大さじ3
豚赤身薄切り	400g	しょうゆ	大さじ4
いんげん	40g		
だし汁	3カップ		

#### ★作り方

- (1) ごぼうは皮をこそげて20cmの長さに切り、酢水にさらしてアク抜きしてからさとう、塩、しょうゆ少々で下煮する。
- (2) にんじんもごぼうと同様に切り、下煮する。
- (3) にんじんを中心にまわりをごぼうで包み、そのまわりを豚肉でまく。次にかんぴょうを包帯まきに二重位にまいて、最後に楊枝でとめる。
- (4) なべに出し汁・調味料を入れておとしぶたをし、弱火で汁気がなくなるまで煮込む。
- (5) (4)を2cm位に切り、色よくゆでたいんげんを添える。

栃木県農務部普及教育課 ☎0286-23-2317

# とちぎ産

本県は、「米麦・園芸・畜産をバランス良く振興しよう」と、生り、昨年度から首都圏農業の確立に向けての取り組みをスタートし、現在、県内各地では、消費者が求めている“おいしくて新鮮な”産品を輸入したり、新技術や栽培方法などの開発研究や施設整備などを進め、鮮度保持などいろいろな工夫がなされています。

そこで今、とちぎの農業はどのような状況にあるのか、本県の



## おいしい



【整備が進むライスセンター】

本県は、おいしい栃木米の生産県です。特においしい米の代表「コシヒカリ」の生産量は、全国第三位となっています。水田地帯では、カントリエレーベーターやライスセンター・産地精米施設といった大型の施設を整備して、流通や品質管理の合理化を図り、おいしい栃木米を県内外の消費者に届けています。



【手作り牛乳】

牛乳は、日本の食生活に不足しがちなカルシウム・ビタミンを多く含んでおり、健康に役立つ最も身近な食品です。本県の生乳生産量は全国第四位で、県内の酪農家が朝・夕に搾乳し、生産しています。そして、最近の消費者の手作り志向にこたえて、オリジナルの「低温殺菌牛乳」や「飲むヨーグルト」を、特産品として開発商品化し販売している酪農家のグループもあります。

## 21世紀に向けて活力ある農業を築こう!

地域の特性を生かし、創意工夫をこらし、消費者の需要に対応した「とちぎの首都圏農業」は、県内各地で着々と進んでいます。県においても、野菜の育苗センター・選果場・集出荷等の園芸振興のための施設整備や農家が積極的に野菜・花き等園芸作物の生産に取り組みめるよう各方面から支援を行っています。

さらに、米麦等の生産性向上と畜産経営の体質強化を図り、本県農業の限らない発展性を最大限に生かして、生産者・消費者の大きな期待に応える「21世紀のとちぎの農業」を目指してまいります。

# 情報スクランブル

県庁のあて先  
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

## 催し

### 1990年 世界選手権 自転車競技日本大会

▶世界のサイクリストが注目しているイベントが、宇都宮市を中心とした周辺都市で開催されます。

▶この大会はオリンピックより古くから行われ、今回の日本大会で87回目を迎えます。

開催日	8月29日(水)	9月1日(土)	9月2日(日)
時間	AM10:00~ PM2:00~	AM9:00~ PM1:00~	AM10:30~
競技種目	アマ女子 団体ロード	アマ女子 個人ロード	プロ 個人ロード
距離	50km (1往復)	100km (2往復)	72.5km (14.5K×5周) 174km (14.5K×12周) 261km (14.5K×18周)
場所	日光・宇都宮道路	宇都宮市古賀志山周辺道路	

▶大会規模  
参加国数 約40カ国  
参加選手数 約600名

▶チケット販売  
ロード競技 スタンド席5,150円(765席)  
立ち見席2,060円(1,000席)  
\*税込

現在、主要プレイガイドで販売中

▶問合せ 世界選手権自転車競技大会実行推進委員会 (☎0286-32-2130)



### 蚕業センター公開デー

▶蚕業センターでは、「緑…そしてシルク」をメインテーマに施設や業務の内容等を紹介し、広く県民のみなさんにご理解とご協力をいただくため、第3回公開デーを開催します。

▶日時 7月25日(水)・26日(木)  
午前9時~午後4時

▶場所 県蚕業センター  
(南河内町薬師寺3311-122)

▶内容 「観察コーナー」「まゆをつくる2~3日前まで育てた蚕の配布」「糸繰りコーナー」「まゆの手芸教室」「絹製品等即売コーナー」など

▶問合せ 県蚕業センター ☎0285-44-0260

## 農業試験場公開デー

▶農業試験場では、県民のみなさんに仕事の内容や最新の試験・研究内容を知っていただくため、次のとおり公開デーを開催します。

▶期日 8月22日(水)・23日(木)

▶場所 県農業試験場  
(宇都宮市瓦谷町1,080)

▶内容  
メインテーマ  
「創意と技術でささえる豊かな農業」

◇メインテーマ関連、専門別成果の展示

◇野菜・花苗などのプレゼント

◇農産物・特産品等の展示即売

◇農業機械・資材等の展示、実演

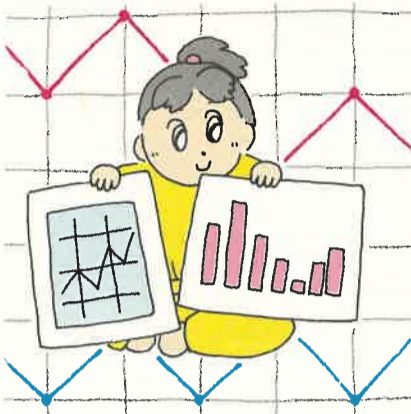
◇ふるさと名人の出演

◇ヘルシーふるさとコーナー

▶問合せ 県農業試験場(☎0286-65-1241)

は全国コンクールに出品します。

▶問合せ 県統計課(☎0286-23-2244)  
または各市町村統計主管課



### 栃木県の人口は何人でしょう? —人口予想懸賞募集—

▶県と県統計協会は、10月1日に行われる国勢調査の栃木県人口の予想を次のとおり募集します。

▶問題  
平成2年10月1日に行われる国勢調査の「栃木県人口、は何人でしょうか？」

▶応募資格 県内在住の方

▶応募方法 官製はがきに住所、氏名、年齢、職業(学生・生徒・児童は学校名と学年)、予想人口を一枚にひとつ記入してください。(訂正したものは無効とします)

▶応募先 〒320 宇都宮市埴田1-1-20  
県企画部統計課

▶締切 平成2年10月1日(月)  
(当日消印有効)

▶賞金(賞品) 一等5万円 二等3万円  
三等1万円(各一人) 四等5千円(十人) 五等県民手帳(百人)

▶入賞者 知事の公表する概数人口(平成2年11月下旬発表予定)によって、決定します。  
なお、正解者多数のときは抽選正解者のない場合は概数人口に近い順に順位を決定します。

▶発表 入賞者が決定次第新聞紙上および栃木放送で発表し、本人に通知します。

▶問合せ 県統計課(☎0286-23-2246)

## 案内

### 県政を身近に！情報公開制度

▶県では、とちぎ新時代に向けて県民の県政参加を進め、一層公平で開かれた県政を実現するために、情報公開制度を実施しています。

▶この制度により、県民のみなさんは、必要に応じて県の持っている公文書を開覧したり、写しを得ることができます。

▶平成元年度に開示請求された文書は、神社明細帳・官有地払下げ関係文書・土地改良事業の換地計画書・大規模開発に伴う環境アセスメント評価書など469件ありました。

▶ご相談・受付は、次のところで行っています。

情報公開相談室  
(県庁東館 ☎0286-23-2058)

県南県民センター  
(県下都賀庁舎内 ☎0282-24-5665)

県北県民センター  
(県那須庁舎内 ☎0287-23-1555)

また、情報公開相談室では、県が作成した行政資料を自由に閲覧できます。お気軽にお訪ね下さい。

▶問合せ 県文書学事課情報公開班  
☎0286-23-2058

### 脳卒中对策(内便所建設促進) 特別融資について

▶脳卒中死亡の原因のひとつに、屋外便所使用により生じる冬季の体温差が考えられます。

▶そこで、県では脳卒中对策の一環として、屋外便所しかない住宅を持つ方が内便所を設けるときに、無利子で特別融資を行います。

▶融資対象者  
・県内に住んでいる方  
・屋外便所しか所有していない方  
・取扱金融機関の定める収入のある方

▶融資対象住宅 屋内便所を有しない住宅

▶融資限度額 100万円以内

▶償還期間 10年以内

▶償還方法 元金均等月賦償還で

▶融資予定戸数 100戸

▶申込先 県住宅建設資金取扱機関

▶問合せ 県住宅課  
☎0286-23-2487・2488

## 募集

### 平成2年度統計グラフ 栃木県コンクール作品募集

▶県内の小・中・高校生、大学生、一般のみなさんを対象に統計グラフの作品を募集しています。

▶主催 栃木県 栃木県教育委員会  
栃木県統計協会

▶後援 下野新聞社 栃木新聞社  
NHK宇都宮放送局 栃木放送

▶課題 自由。ただし小学1~3年生は、児童が観察した結果をグラフにしたものとする。

▶大きさ ◇小・中学生…たて72.8cm、よこ51.5cm◇高校生、大学生、一般…たて103cm、よこ72.8cm◇パソコン統計グラフの部(原則として高校生以上)…たて72.8cm、よこ51.5cm  
※いずれも仕上げ寸法とします。

▶紙質・色彩 自由。ただし、裏面の板張り(パネル仕上げ)、表面のセロハンカバーなどは認めない。

▶応募先 ◇小・中学生…学校所在地の市町村統計主管課へ◇高校生、大学生、一般…県統計課へ

▶締切日 8月31日(金)必着

▶発表 9月中旬。表彰は栃木県統計大会の席上で行います。なお、優秀作品

## 困っていませんか!? ~在宅福祉サービス~

○在宅福祉サービスとは……?  
寝たきりやひとり暮らしのお年寄りが、住み慣れた地域のなかで家族や近隣の人々に囲まれて、生き生きと安心して生活していただけるよう、お年寄りとその家族の方々にさまざまなサービスを提供し、支援しています。

▶身の回りの世話をしてほしい◀  
—家庭奉仕員の派遣—  
寝たきりやひとり暮らしのお年寄りがいる

家庭で、介護や家事のお手伝いが必要なとき、家庭奉仕員(ホームヘルパー)がご家庭を訪問しお世話をします。

▶お風呂にはいりたい◀  
—デイ・サービス—  
体の弱い在宅のお年寄りを施設に送迎して、健康のチェックや入浴・給食・食事などの介護サービスを日帰りで提供します。

▶少しの間、施設でお世話をしてほしい◀  
—ショートステイ—  
介護している家族の方が、病気や介護疲れなどで一時的にお年寄りの介護ができないときに、老人ホームで短期間(7日間程度)お世話をします。

▶介護の用具を利用したい◀  
—日常生活用具の給付・貸与—  
寝たきりやひとり暮らしのお年寄りに、日常生活に必要な介護用具等を給付または貸し出したりします。

【主な品目】  
特殊寝台・浴槽・湯沸器・エアパット・腰掛便座(便器)・体位変換器・車いす・歩行者・自動消火器・火災警報器など



各サービスの利用料等は世帯の所得等に依りて利用者負担があります。

▶詳しいことは、市町村老人福祉主管課またはホームヘルパー(家庭奉仕員)、市町村保健婦、民生委員などに相談してください。

### 県政テレビ番組 ウィークリー栃木

毎週月曜日 AM9:00~9:15  
テレビ東京 12チャンネル  
レポーター 高松しげお 相馬宏美

### 県政ラジオ番組 (栃木放送)

- 県民の窓  
毎週日曜日~金曜日  
午後0時15分~0時30分
- 県庁ダイアリー  
毎週月曜日~土曜日  
午前8時42分~8時47分
- 県政アラカルト  
「知事さんこんにちは」  
毎月第3日曜日  
午前9時15分~9時45分



### 文字放送

■NHK総合テレビの電波に多重し、県からのお知らせ、生活情報を常時放送しています。

●毎日午前6時~午後12時  
1チャンネル(550#)

■文字放送を見るには…  
文字放送受信機能を組み込んだ文字放送内蔵型テレビか、文字放送専用アダプターが必要です。くわしくは、お近くの電気屋さんでおたずねください。



### あなたの声を県政に

- 県政についてのご意見・ご要望・苦情をお受けしています。また、日常生活でお困りのことなど、お気軽にご相談ください。
- 県が発行する報告書やパンフレットを展示、ご希望の方にはおわけしています。是非、ご利用ください。
- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
- 上都賀県民相談室 ☎0289-64-9419
- 安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
- 塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
- 芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
- 足利県民相談室 ☎0284-42-9700
- 南那須県民相談室 ☎0287-83-1555